

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス キャンドウトプラス		
○保護者評価実施期間	令和 8年 3月 1日		～ 令和 8年 3月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和 8年 3月 1日		～ 年 月 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	送迎時や家庭支援を通して、児童の様子を情報共有することができている。	利用時の活動や子ども様子を送迎の際に伝えることや、家庭支援を通して、支援についての情報共有を図っている。	子育てサポートとして、保護者参加型の活動を企画し、子育てにおける悩みや保護者同士の情報共有の機会を設け、子どもだけでなく、保護者も安心して生活できるようサポートを行っていく。
2	地域との交流を行っている。	地域の方々に事業所に招いて、子どもと交流する機会を作っている。また、地域のイベントに参加するなど、地域の方々だけではなく児童との交流も持つことができている。	子どもが参加するイベント行事に保護者への呼びかけも行い、子どもとその保護者ともに社会参加を促していく。
3	子どものできるを増やすようにしている。	子どものすることに対して、何にでもダメというのではなく、できることについては見守りを行い、どうしたらできるようになるかを考えるようにさせている。	子ども達が自主的に考えることができるように、子ども達で考え、話し合う機会を持たせるために、時間を設定するなど活動に取り入れていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者への情報発信が十分ではない。	メールなどのSNSでの発信を通して、子ども達の様子や翌月活動の連絡を行っているところではあるが、利用日以外の活動への理解ができないこともあり、周知が不十分である。	利用日以外の活動でも、説明を求められれば伝達し、事業所の行っている活動や支援内容に対して理解を求めていく。また、保護者とのやり取りを行い、その都度伝え、情報を発信していく。
2	研修参加の機会が少ない。	研修開催の日程と人員配置の観点から、参加できる研修が限られてしまうことがある。	研修申し込みの日程を理解し、従業員のキャリアや要件に応じた研修の内容を設定し、期限に申し込みできるようにしていく。また、勤務についても予め調整できるようにしていく。
3	業務の効率化が必要である。	業務スケジュールを作成し、業務が円滑に遂行できるようにしているところではあるが、各職員の業務役割や分担に応じたスケジュールを作成することが求められる。	各職員の役割と分担を理解し、互いに情報共有をすることにより、業務の効率化を図っていく。また、職員同士の共有をスムーズに行うための、朝礼の他、時間や場の設定を行っていく。